

# 平成29年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成30年5月

高崎市（群馬県）

○計画期間：平成26年4月～平成31年3月（5年）

## I. 中心市街地全体に係る評価

### 1. 平成29年度終了時点（平成30年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市の中心市街地は、平成26年3月に「第2期高崎市中心市街地活性化基本計画」の認定を受け、継続した中心市街地の活性化に取り組んでいる。

中心市街地活性化の戦略として高崎駅徒歩圏に整備する「新体育館（高崎アリーナ）」、「高崎文化芸術センター」、「群馬県コンベンション施設」のハード事業においては順調に整備が進捗し、平成28年度には高崎アリーナが完成を迎え、高崎文化芸術センター、群馬県コンベンション施設についても建設に着工している。

さらに、高崎駅西口と直結する「高崎オーパ」も平成29年10月に開業し多くの来場者で賑わうなど、本市の中心市街地は、交流人口が大きく増加する都市構造に変化しようとしている。

これら、交流人口の増加を見込み、来街者を中心市街地全体へ波及させるための事業として、賑わいと回遊性の向上を目的に継続実施している「高崎まちなかオープンカフェ推進事業」や「高崎まちなかコミュニティサイクル推進事業」、個店の魅力や集客力を高める「高崎まちなか商店リニューアル助成事業」により、歩行者・自転車通行量は大幅な増加の傾向を示し、まちなか回遊の効果が表れている。

今後は、中心市街地に更なる面的効果を波及させるため、「都市計画道路仲通り線修景施設整備事業」で新たな賑わい空間を整備するなど、官民一体となった中心市街地の活性化に向けた取り組みが進んでいる状況である。

#### 【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（中心市街地地域）	平成25年度 （計画期間開始前年度）	平成29年度 （フォローアップ年度）
人口	27,404人	28,099人
人口増減数	413人	274人
社会増減数	—	—
転入者数	—	—

※人口、人口増減数については、各年度とも1月1日を基準日としている。

※社会増減数、転入者数については集計していない。

### 2. 平成29年度の実施等に対する中心市街地活性化協議会の意見

平成29年度は、昨年度に続き「歩行者・自転車通行量（休日）」が基準値を大きく上回る結果となったが、これは、毎年恒例の大規模イベントや様々な施策の継続実施の効果の他、平成29年10月に開業した高崎オーパの集客による波及効果や高崎駅西口周辺のペDESTリアンデッキ整備により回遊性が向上したことが大きく影響していると推測される。

また、「小売業年間商品販売額」は高崎オーパ開業により周辺の大型店舗も売上げを伸ばすなど、相乗効果が生まれており、大幅な増加が見込まれる。この相乗効果を大型店だけではなく、中心市街地全体の個店にも波及させていくことが重要であるとする。

さらに、「文化施設の利用者数の合計値」も前年度から増加しており、来訪者が買い物や食事を行うだけではなく、文化や芸術に触れながら余暇を中心市街地で過ごしているものと推測され、文化事業の実施と定着が表れてきているものと評価できる。

現在、高崎駅周辺では大きく集客力が増加しており、この流れを今後もより加速し、効果を中心市街地全体に広げていくような展開を期待するものである。

## II. 目標毎のフォローアップ結果

### 1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
市民・まちなか居住者・広域来訪者が楽しく回遊できるまち	歩行者・自転車通行量 (休日)	101,411 人 (H24)	108,500 人 (H30)	138,215 人 (H29)	①	①
高い集客力を生かした経済活力にあふれるまち	小売業年間商品販売額	1,172 億円 (H23)	1,375 億円 (H30)	平成 30 年度最終フォローアップ		
音楽を中心とした“高崎文化”を創造・発信するまち	文化施設の利用者数の合計値	612,251 人 (H24)	1,070,770 人 (H30)	664,920 人 (H29)	②	④

#### <取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

### 2. 目標達成見通しの理由

「歩行者・自転車通行量（休日）」については、平成 25 年度からスタートした個店の魅力アップを推進する「高崎市まちなか商店リニューアル助成事業」、中心市街地の回遊性と賑わいの向上を図る「高崎まちなかオープンカフェ推進事業」、「高崎まちなかコミュニティサイクル推進事業」、その他、基本計画掲載のソフト事業で中心市街地の回遊性への慣れと魅力の拡大につながったことにより通行量が大幅に増加した。今後も継続した事業の実施により目標達成を目指す。

「小売業年間商品販売額」については、平成 28 年度に中間フォローアップ調査を行い、平成 24 年から平成 26 年の数値の推移から、本市においては増加傾向にあると推計される。計画に遅れが生じている事業もあるが、平成 29 年 10 月には高崎駅西口と直結する高崎オーパが開業し、多くの買い物客で賑わいを創出しており、また、周辺店舗にも売上げを伸ばす店舗が見受けられるなどプラスの波及効果が表れている。今後も各施設の整備、中心市街地への誘引施策等、基本計画に掲載した事業を引き続き進めることで、目標の達成を目指す。

「文化施設の利用者数の合計値」については、評価の対象となる高崎文化芸術センターが整備中で数値を取り入れておらず、完成時期についても当初計画から遅れが生じているため、その他の対象4施設での魅力的な催しを継続して行うとともに、既存事業の見直しや大型集客施設での情報発信の研究を行うなど、引き続き増加のための施策を展開し目標の達成を目指す。

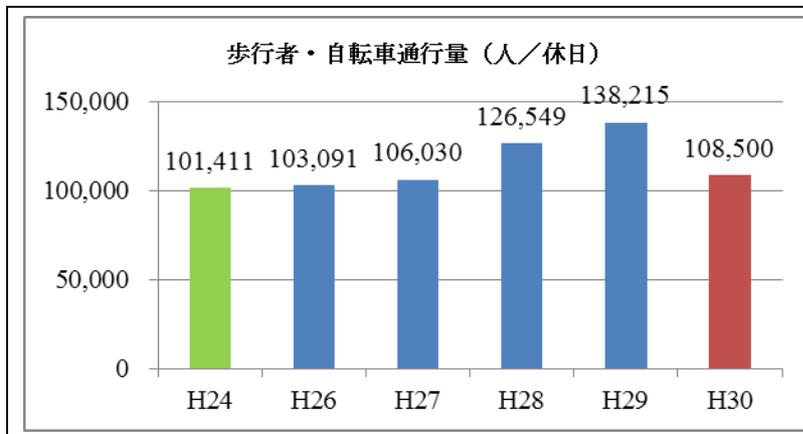
### 3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

「文化施設の利用者数の合計値」について、平成28年度フォローアップにおいては、現在整備中で評価対象となる高崎文化芸術センターの計画期間内での完成を見込んでいたが、事業の遅れにより期間内での完成が困難な見通しとなったため、④と評価した。

### 4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「歩行者・自転車通行量（休日）」※目標設定の考え方基本計画 P68～P74 参照

#### ●調査結果の推移



年	(人/日)
H24	101,411 (基準年値)
H26	103,091
H27	106,030
H28	126,549
H29	138,215
H30	108,500 (目標値)

※調査方法：11月の第一土曜日に14地点で10時から20時まで計測

※調査月：平成29年11月

※調査主体：高崎市

※調査対象：中心市街地14地点における歩行者及び自転車の通行量

#### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

##### ①. 高崎市まちなか商店リニューアル助成事業（高崎市）

事業完了時期	平成25年度から【実施中】
事業概要	市内の店舗等で新たな競争力をつけるために行うリニューアル工事にかかった費用の一部を支援する。この事業により、店舗等の魅力や集客力、賑わいや回遊性が向上し、中心市街地の活性化に寄与する。
事業効果及び進捗状況	平成29年度本事業の制度を活用した店舗のうち、その約3割、100件程度が中心市街地の店舗となっており、魅力ある店舗づくりが進んだことから歩行者・自転車通行量が増加した。また、制度を活用した店舗には新たなコミュニティが構築されるなど、賑わいや店舗間の回遊性の向上にも寄与している。

②. 高崎まちなかオープンカフェ推進事業（高崎まちなかオープンカフェ推進協議会）

事業完了時期	平成 25 年度から【実施中】
事業概要	都市再生特別措置法の改正を契機に歩道上でオープンカフェが行えるようになったことから、まちなかに新たな回遊性と賑わいを創出するため実施している事業。
事業効果及び進捗状況	本事業は、平成 25 年度から継続して行っており、参加店舗は開始時の 13 店舗から平成 29 年度には 17 店舗に増加した。平成 30 年度からは更に 1 店増加し、参加店舗が 18 店舗になるなど事業も着実に定着してきており、中心市街地の賑わいの向上に寄与している。

③. 高崎まちなかコミュニティサイクル推進事業

（高崎まちなかコミュニティサイクル推進協議会）

事業完了時期	平成 25 年度から【実施中】
事業概要	まちの移動手段の多様化は都市の魅力を高めることから、新たな交通手段として実施する事業。この事業を行うことにより、中心市街地に新たな賑わいと回遊性の向上を図る。
事業効果及び進捗状況	本事業は、平成 25 年度から継続して行っている事業であり、自転車数が開始時の 100 台から 150 台に、サイクルポートが 12 箇所から 16 箇所に増加した。中心市街地を移動する新たな交通手段として事業も定着しており、中心市街地の回遊性の向上に寄与している。

④. 地域交流センター整備事業（高崎文化芸術センター整備事業）（高崎市）

事業完了時期	平成 30 年度【実施中】
事業概要	群馬県の玄関口である高崎駅の利便性や高速交通網を生かした広域誘客を図るため、芸術文化創造の中心となる施設を整備し、賑わいと情報発信の拠点とする。
事業効果及び進捗状況	高崎駅を中心とした徒歩圏内に新たに整備される高崎文化芸術センターは、その規模とともに催しの前後における飲食や買い物等に大きな効果をもたらす。平成 28 年度に着工し平成 30 年度に完成する予定であったが、工期に遅れが生じ、平成 31 年度に完成予定となったため、計画変更を予定している。

⑤. 新体育館建設事業（高崎市）

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	老朽化した中央体育館を移転新築し、市民が利用しやすい施設・設備とすることで、市民スポーツの普及と振興を図る。
事業効果及び進捗状況	高崎駅を中心とした徒歩圏内に新たに整備される新体育館は、その規模とともに催しの前後における飲食や買い物等に大きな効果をもたらす。平成

	28年12月に建物が完成し、平成29年4月に開館した。年間の利用者数は24万5千人となっており、まちなかの賑わいの創出に寄与している。
--	---

⑥. 群馬県コンベンション施設整備事業（群馬県）

事業完了時期	平成31年度【実施中】
事業概要	高崎競馬場跡地に大規模展示施設、メインホール、大規模な学術会議に対応する会議室を備えたコンベンション施設を整備する。
事業効果及び進捗状況	高崎駅を中心とした徒歩圏内に新たに整備される群馬県コンベンション施設は、その規模とともに催しの前後における宿泊や飲食等に大きな効果をもたらす。平成29年中に整備に向けた準備作業は終了し、平成30年1月から建設工事に着手しているところである。整備基本計画を見直し、事業完了を平成31年度としたことから計画期間内の効果は望めない状況となっている。

⑦. 高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業（高崎市）

事業完了時期	平成34年度【実施中】
事業概要	群馬県の玄関口である高崎駅の利便性や高速交通網を生かした広域誘客を図るため、商業・オフィスビルを整備し、賑わいと情報発信の拠点とする。
事業効果及び進捗状況	高崎駅を中心とした徒歩圏内に新たに整備される商業・オフィスビル（高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業）は、集客力の向上や賑わいの創出に寄与し、飲食や買い物等に大きな効果をもたらす。現在は、事業着工に向け準備を行っているところである。整備基本計画を見直し、事業完了を平成34年度としたことから計画期間内の効果は望めない状況となっている。

⑧. 高崎オーパ整備事業（株式会社 オーパ）

事業完了時期	平成29年度【済】
事業概要	ビブレ跡地などに高崎オーパを整備し、広域からの集客向上と商業拠点の機能強化を図る。
事業効果及び進捗状況	高崎駅西口のビブレが閉店し、ビブレの規模を上回る新たな高崎オーパの整備を行った。平成29年10月にオープンし、多くの買い物客で賑わいを創出しており、また、周辺店舗にも売上げを伸ばす店舗が見受けられるなどプラスの波及効果が表れている。

⑨. 高崎駅西口ペDESTリアンデッキ整備事業（高崎市）

事業完了時期	平成30年度【実施中】
事業概要	高崎駅から西口駅前広場に面して整備される商業施設をペDESTリアンデッキで接続することで、安全・快適な歩行者空間を確保するとともに、駅東西自由通路を介した回遊性と賑わいの向上を図る。
事業効果及び	平成29年度は、高崎駅西口駅前広場に新たに整備された大型商業施設「高

進捗状況	崎オーパ」や隣接する大型店舗、公営立体駐車場などと接続する工事を行った。これにより安全・快適な歩行者空間が確保され、駅からのアクセスがスムーズになったことで、歩行者通行量の増加、回遊性の向上に寄与している。
------	---

⑩. 高崎公園・烏川緑地間人道橋整備事業（高崎市）

事業完了時期	平成 26 年度【済】
事業概要	中心市街地に位置する高崎公園から国道 17 号を跨ぎ烏川緑地へと連絡する人道橋を整備することにより、水辺を身近に感じることのできる潤いのあるまちづくりを創出するとともに、まちなか回遊性の向上を図る。
事業効果及び進捗状況	本事業は、平成 26 年度に完了し、中心市街地における都心部と水辺空間を一体的に回遊できるルートが確保されたことにより、歩行者・自転車通行量の増加に寄与している。

⑪. 【平成 27 年度追加】高崎駅東口ペDESTリアンデッキ整備事業（高崎市）

事業完了時期	平成 30 年度【実施中】
事業概要	高崎駅と高崎駅東口に整備される集客施設をペDESTリアンデッキで接続することで、安全・快適な歩行者空間を確保するとともに、駅東西の回遊性と賑わいの向上を図る。
事業効果及び進捗状況	高崎駅から高崎文化芸術センターまでの間をペDESTリアンデッキでつなぐことで、駅から訪れる人にとっての安全・快適な歩行空間を確保し、施設利用者や歩行者通行量の増加に寄与する。平成 29 年度は、第 1 工区（2カ年目：L=168m）と第 2 工区（年末発注：L=142m）について築造工事を実施し、第 1 工区における進捗率は 60%となっている。

⑫. 【平成 28 年度追加】高崎駅西口駅前広場整備事業（高崎市）

事業完了時期	平成 29 年度【済】
事業概要	高崎駅西口駅前広場の再編整備を行うことで、慢性的な渋滞の緩和、公共交通の定時性の確保、歩行者の安全性・利便性の向上を図るとともに、東西駅前広場に隣接する施設への回遊性を高める。
事業効果及び進捗状況	大型商業施設「高崎オーパ」の進出及びペDESTリアンデッキの増改築に伴い、駅西口駅前広場の新たな交通需要に対応していくため、駅前広場の再編成整備（タクシールールの再編、公共交通と一般車両の区分け等）を実施したことで、円滑な交通の確保、歩行者の安全性の向上につながっている。

⑬. まちなか緑化重点整備事業（高崎市）

事業完了時期	平成 29 年度【済】
事業概要	緑が少なく潤いに乏しい中心市街地に、身近な緑のネットワークを形成し、都市のイメージを向上させるシンボル性のあるまちなみを創出する。
事業効果及び進捗状況	中心市街地の緑オアシスとして市民に親しまれている城址の土塁である

進捗状況	が、年々樹木の老木化が進行し、緑の減少につながっている。このため平成28年度より平成29年度までの2年をかけ、サクラの植樹を行ったことにより、シンボル性のある緑地が創出され、中心市街地の賑わいに寄与している。
------	--

⑭. 多機能型住居整備事業（医療法人社団 山崎会ほか）

事業完了時期	平成28年度【済】
事業概要	多機能型住居（子ども預かり施設、福祉センター、多世代交流施設、学生向け住宅など）を整備し、中心市街地の交流と賑わいの向上を図る。
事業効果及び進捗状況	中心市街地に、民間事業者と市が協働で福祉サービスと住居機能が一体となった施設を整備することにより、多世代が交流できる生活空間の創出を図った。事業は平成28年度に完了し、多世代にわたる人々が入居・入所、施設利用等で利用することにより、まちなかの賑わいと回遊性の向上に寄与している。

⑮. 高崎商都博覧会（高崎商工会議所、高崎商都博覧会実行委員会）

事業完了時期	平成22年度から【実施中】
事業概要	商都高崎の魅力を発信するため、中心市街地の大型商業施設5店舗をパビリオンと位置付け、各店が趣向を凝らしたイベントを開催する。
事業効果及び進捗状況	中心市街地の大型店5店舗での買い物や高崎まちなかオープンカフェ参加店での食事等をした人を対象にして、約2,000本の景品が当たる抽選会を実施。期間中は多くの人々が訪れ、まちなかの経済活力の向上と回遊性の向上に寄与している。平成29年度は高崎オーパの開業に合わせて10月の4日間開催した。

⑯. 【平成27年度追加】都市計画道路仲通り線修景施設整備事業（高崎市）

事業完了時期	平成29年度【済】
事業概要	商店街の通りの賑わいと活力の向上を図るため、屋根を設置して連続した都市空間を創出するとともに、昭和の風情漂う飲食店街の整備を進める。
事業効果及び進捗状況	大雪で崩落した中央銀座商店街のアーケードの屋根を修復するにあたり、昭和の風情漂う空間づくりを目指して、飲食店街や道路と一体的に再整備を行った。平成29年度に工事は完了し、中心市街地の新たな集客の拠点として効果が期待される。

⑰. 【平成29年度追加】高崎だるま市（高崎だるま市実行委員会）

事業完了時期	平成28年度から【実施中】
事業概要	高崎を代表する伝統工芸品である「高崎だるま」を販売するだるま市を、元日からまちなかで開催することで、本市への誘客と中心市街地の活性化につなげていく。

事業効果及び進捗状況	元旦・2日に高崎駅西口駅前通りを交通規制して高崎だるま市を開催した。高崎だるまの販売、開運たかさき食堂の出店、おもてなしイベントの開催、初詣無料巡回バスの運行などを実施し、2日間で約35万人の来場者を集めるなど、まちなかの賑わいの創出に大きく寄与している。
------------	--

⑩. 【平成 29 年度追加】 たかさきキッズパーク（たかさきこどもまつり実行委員会）

事業完了時期	平成 27 年度から【実施中】
事業概要	中心市街地の公共施設内に世界の優れたあそび道具を集めた全天候型のあそび場を設置することにより、親子連れなど多くの人々に楽しんでもらうとともに、まちなかを訪れる機会を創出し、活性化につなげていく。
事業効果及び進捗状況	平成 29 年度は 9 月の 10 日間、市総合保健センター内で開催。子どもの心、体、あたまの全てを使う多様な遊具で親子一緒に遊んでもらい、期間中は 1 万人以上が来館するなど、まちなかの賑わいの創出に寄与している。

⑪. 【平成 29 年度追加】 高崎菓子まつり（高崎菓子業組合）

事業完了時期	平成 26 年度から【実施中】
事業概要	市内の菓子職人が腕を振ったお菓子を一同に味わうことができるほか、プロが教える菓子づくり体験などを実施することにより、市内外からの多くの誘客を図り、まちなかの賑わいの創出につなげていく。
事業効果及び進捗状況	平成 29 年度は、中心市街地の広場を会場として、ワンコイン菓子（100 円）の販売、菓子作りやパン焼きの体験、音楽の演奏等を実施し、約 8,000 人の来場者を集めるなど、まちなかの賑わいの創出に寄与している。

⑫. 【平成 29 年度追加】 たかさきハロウィン（たかさきハロウィン実行委員会）

事業完了時期	平成 29 年度から【実施中】
事業概要	こどもから大人まで参加できる仮装コンテストや音楽ライブを実施し、若者だけでなく家族連れなど多くの人々がまちなかを訪れることができる機会を提供する。
事業効果及び進捗状況	初の開催となった平成 29 年度は、仮装コンテストやフェイスペイント、フォトスポットを巡るスタンプラリーなど様々なイベントを実施し、多くの若者や家族連れにまちなかのスポットを回遊してもらうことで、中心市街地の賑わいの創出、経済活力の向上に寄与した。

⑬. 【平成 29 年度追加】 高崎アートインキュベーション推進事業

（高崎アートインキュベーション推進会議）

事業完了時期	平成 28 年度から【実施中】
事業概要	高崎駅周辺を中心としたエリアで、アート（音楽・美術・デザイン・パフォーマンス等）によるまちづくりを進め、発信型のアートの創造と文化産業の創出等を行うことで、本市への誘客と中心市街地の活性化につなげていく。

事業効果及び進捗状況	国際的に活躍するアーティストから新進気鋭の若手まで、15人の優れたアーティストが高崎市に集結し、中心市街地の広場や街路樹、街灯、建物壁面などに作品を制作し、まちなかがアートに染まる「アートプロジェクト高崎」を開催するなど、文化芸術振興はもとよりまちなかの誘客にも寄与した。
------------	--

②. 【平成 29 年度追加】 たかさき観光情報海外発信事業（高崎市）

事業完了時期	平成 27 年度から【実施中】
事業概要	高崎市で認定した「高崎観光大使」が発信している観光やグルメ情報などの地域的话题を、「高崎市外国人観光客おもてなし通訳・翻訳ボランティア」に翻訳してもらい、言語ごとに SNS を利用し、情報発信を行う。
事業効果及び進捗状況	約 20 名の翻訳ボランティアが、高崎市の魅力ある情報を翻訳し、SNS により情報発信を行っている。平成 29 年度は、5 言語（英語・中国語・台湾語・韓国語・タイ語）に翻訳し、256 件の投稿を行うなど、中心市街地を中心とした市内各地域への誘客に寄与している。

●目標達成の見通し及び今後の対策

高崎市まちなか商店リニューアル助成事業、高崎まちなかオープンカフェ推進事業、高崎まちなかコミュニティサイクル推進事業は継続実施により多くの人に利用され順調に進捗している。また、平成 29 年度中に新体育館と高崎オーパがオープンし、通行量の増加に大きく寄与していると考えられることから、今後も、広域からの集客効果をもたらす高崎駅周辺の都市集客施設の事業を進めるとともに、回遊性を向上させる様々な施策との相乗効果により交流人口を増加させ、更に実績を伸ばしたい。

「小売業年間商品販売額」※目標設定の考え方基本計画 P75～P82 参照

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業（高崎市）

事業完了時期	平成 34 年度【実施中】
事業概要	群馬県の玄関口である高崎駅の利便性や高速交通網を生かした広域誘客を図るため、商業・オフィスビルを整備し、賑わいと情報発信の拠点とする。
事業効果及び進捗状況	高崎駅を中心とした徒歩圏内に新たに整備される商業・オフィスビル（高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業）は、集客力の向上や賑わいの創出に寄与し、飲食や買い物等に大きな効果をもたらす。現在は、事業着工に向け準備を行っているところである。整備基本計画を見直し、事業完了を平成 34 年度としたことから計画期間内の効果は望めない状況となっている。

②. 高崎オーパ整備事業（株式会社 オーパ）

事業完了時期	平成 29 年度【済】
事業概要	ビブレ跡地などに高崎オーパを整備し、広域からの集客向上と商業拠点の機能強化を図る。

事業効果及び進捗状況	高崎駅西口のビブレが閉店し、ビブレの規模を上回る新たな高崎オーパの整備を行った。平成 29 年 10 月にオープンし、多くの買い物客で賑わいを創出しており、また、周辺店舗にも売上げを伸ばす店舗が見受けられるなどプラスの波及効果が表れている。
------------	--

③. 地域交流センター整備事業（高崎文化芸術センター整備事業）（高崎市）

事業完了時期	平成 30 年度【実施中】
事業概要	群馬県の玄関口である高崎駅の利便性や高速交通網を生かした広域誘客を図るため、芸術文化創造の中心となる施設を整備し、賑わいと情報発信の拠点とする。
事業効果及び進捗状況	高崎駅を中心とした徒歩圏内に新たに整備される高崎文化芸術センターは、その規模とともに催しの前後における飲食や買い物等に大きな効果をもたらす。平成 28 年度に着工し平成 30 年度に完成する予定であったが、工期に遅れが生じ、平成 31 年度に完成予定となったため、計画変更を予定している。

④. 新体育館建設事業（高崎市）

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	老朽化した中央体育館を移転新築し、市民が利用しやすい施設・設備とすることで、市民スポーツの普及と振興を図る。
事業効果及び進捗状況	高崎駅を中心とした徒歩圏内に新たに整備される新体育館は、その規模とともに催しの前後における飲食や買い物等に大きな効果をもたらす。平成 28 年 12 月に建物が完成し、平成 29 年 4 月に開館した。年間の利用者数は 24 万 5 千人となっており、まちなかの賑わいの創出に寄与している。

⑤. 群馬県コンベンション施設整備事業（群馬県）

事業完了時期	平成 31 年度【実施中】
事業概要	高崎競馬場跡地に大規模展示施設、メインホール、大規模な学術会議に対応する会議室を備えたコンベンション施設を整備する。
事業効果及び進捗状況	高崎駅を中心とした徒歩圏内に新たに整備される群馬県コンベンション施設は、その規模とともに催しの前後における宿泊や飲食等に大きな効果をもたらす。平成 29 年中に整備に向けた準備作業は終了し、平成 30 年 1 月から建設工事に着手しているところである。整備基本計画を見直し、事業完了を平成 31 年度としたことから計画期間内の効果は望めない状況となっている。

⑥. 個店研修事業（商店街団体）

事業完了時期	平成 26 年度から【未】
事業概要	中心市街地の商店街における個店の経営力や消費者に支持される店づくり

	を行うために、個店研修の支援を行う。
事業効果及び進捗状況	「高崎まちなか商店リニューアル助成事業」を活用するとともに、個店の経営指導や消費者に支持される店づくりについての研修事業を行うことにより、個店の魅力が増し、商店街全体の買い物や飲食を目的とした集客に効果をもたらす。今後、商店街と連携を図り、実施に向け調整していきたい。

⑦. 高崎まちなかコミュニティサイクル推進事業

(高崎まちなかコミュニティサイクル推進協議会)

事業完了時期	平成 25 年度から【実施中】
事業概要	まちの移動手段の多様化は都市の魅力を高めることから、新たな交通手段として実施する事業。この事業を行うことにより、中心市街地に新たな賑わいと回遊性の向上を図る。
事業効果及び進捗状況	本事業は、平成 25 年度から継続して行っている事業であり、自転車数が開始時の 100 台から 150 台に、サイクルポートが 12 箇所から 16 箇所に増加した。中心市街地を移動する新たな交通手段として事業も定着しており、中心市街地の回遊性の向上に寄与している。

⑧. 高崎商都博覧会 (高崎商工会議所、高崎商都博覧会実行委員会)

事業完了時期	平成 22 年度から【実施中】
事業概要	商都高崎の魅力を発信するため、中心市街地の大型商業施設 5 店舗をパビリオンと位置付け、各店が趣向を凝らしたイベントを開催する。
事業効果及び進捗状況	中心市街地の大型店 5 店舗での買い物や高崎まちなかオープンカフェ参加店での食事等をした人を対象にして、約 2,000 本の景品が当たる抽選会を実施。期間中は多くの人々が訪れ、まちなかの経済活力の向上と回遊性の向上に寄与している。平成 29 年度は高崎オーパの開業に合わせて 10 月の 4 日間開催した。

⑨. 【平成 29 年度追加】高崎だるま市 (高崎だるま市実行委員会)

事業完了時期	平成 28 年度から【実施中】
事業概要	高崎を代表する伝統工芸品である「高崎だるま」を販売するだるま市を、元日からまちなかで開催することで、本市への誘客と中心市街地の活性化につなげていく。
事業効果及び進捗状況	元旦・2日に高崎駅西口駅前通りを交通規制して高崎だるま市を開催した。高崎だるまの販売、開運たかさき食堂の出店、おもてなしイベントの開催、初詣無料巡回バスの運行などを実施し、2日間で約35万人の来場者を集めるなど、まちなかの賑わいの創出に大きく寄与している。

⑩. 【平成 29 年度追加】高崎菓子まつり (高崎菓子業組合)

事業完了時期	平成 26 年度から【実施中】
--------	-----------------

事業概要	市内の菓子職人が腕を振るったお菓子を一同に味わうことができるほか、プロが教える菓子づくり体験などを実施することにより、市内外からの多くの誘客を図り、まちなかの賑わいの創出につなげていく。
事業効果及び進捗状況	平成 29 年度は、中心市街地の広場を会場として、ワンコイン菓子（100 円）の販売、菓子作りやパン焼きの体験、音楽の演奏等を実施し、約 8,000 人の来場者を集めるなど、まちなかの賑わいの創出に寄与している。

⑪. 【平成 29 年度追加】たかさきハロウィン（たかさきハロウィン実行委員会）

事業完了時期	平成 29 年度から【実施中】
事業概要	こどもから大人まで参加できる仮装コンテストや音楽ライブを実施し、若者だけでなく家族連れなど多くの人々がまちなかを訪れることができる機会を提供する。
事業効果及び進捗状況	初の開催となった平成 29 年度は、仮装コンテストやフェイスペイント、フォトスポットを巡るスタンプラリーなど様々なイベントを実施し、多くの若者や家族連れにまちなかのスポットを回遊してもらうことで、中心市街地の賑わいの創出、経済活力の向上に寄与した。

⑫. 【平成 29 年度追加】高崎アートインキュベーション推進事業

（高崎アートインキュベーション推進会議）

事業完了時期	平成 28 年度から【実施中】
事業概要	高崎駅周辺を中心としたエリアで、アート（音楽・美術・デザイン・パフォーマンス等）によるまちづくりを進め、発信型のアートの創造と文化産業の創出等を行うことで、本市への誘客と中心市街地の活性化につなげていく。
事業効果及び進捗状況	国際的に活躍するアーティストから新進気鋭の若手まで、15人の優れたアーティストが高崎市に集結し、中心市街地の広場や街路樹、街灯、建物壁面などに作品を制作し、まちなかがアートに染まる「アートプロジェクト高崎」を開催するなど、文化芸術振興はもとよりまちなかの誘客にも寄与した。

⑬. 【平成 29 年度追加】たかさき観光情報海外発信事業（高崎市）

事業完了時期	平成 27 年度から【実施中】
事業概要	高崎市で認定した「高崎観光大使」が発信している観光やグルメ情報などの地域的话题を、「高崎市外国人観光客おもてなし通訳・翻訳ボランティア」に翻訳してもらい、言語ごとに SNS を利用し、情報発信を行う。
事業効果及び進捗状況	約 20 名の翻訳ボランティアが、高崎市の魅力ある情報を翻訳し、SNS により情報発信を行っている。平成 29 年度は、5 言語（英語・中国語・台湾語・韓国語・タイ語）に翻訳し、256 件の投稿を行うなど、中心市街地を中心とした市内各地域への誘客に寄与している。

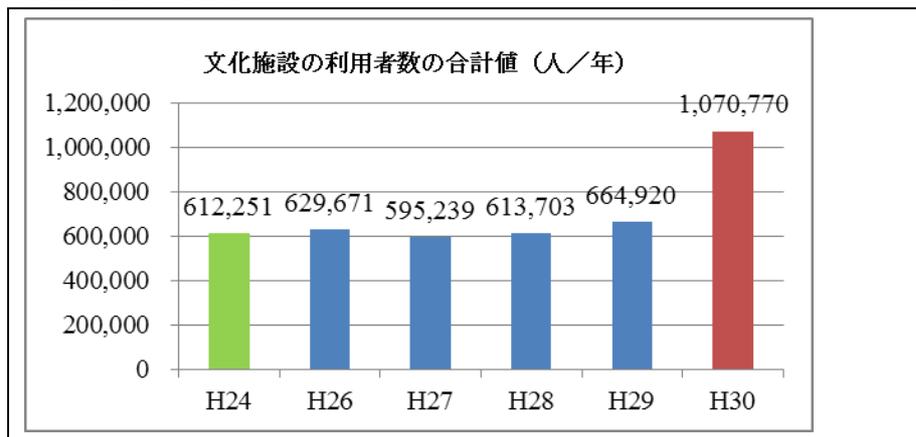
●目標達成の見通し及び今後の対策

目標の達成に寄与する主要事業のうち、高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業、地域交流セン

ター整備事業（高崎文化芸術センター整備事業）、群馬県コンベンション施設整備事業については、事業完了予定が遅れたことから計画期間内での効果は望めない状況となったが、平成29年度にオープンした新体育館、高崎オーパでは高い集客効果を発揮し、広域からの集客効果が施設周辺の店舗などにも広がっている。今後も、中心市街地への誘引施策等、基本計画に掲載した事業を継続し、目標達成を目指していきたい。

「文化施設の利用者数の合計値」※目標設定の考え方基本計画 P83～P87 参照

●調査結果の推移



年	(人/年)
H24	612,251 (基準年値)
H26	629,671
H27	595,239
H28	613,703
H29	664,920
H30	1,070,770 (目標値)

※調査方法：利用者数調査（独自調査）

※調査月：平成29年度

※調査主体：高崎市

※調査対象：群馬音楽センター、高崎シティギャラリー、高崎市美術館  
高崎市タワー美術館、高崎文化芸術センター（整備中）

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 高崎音楽祭（高崎音楽祭委員会）

事業完了時期	平成2年度から【実施中】
事業概要	高崎音楽祭は、クラシックやジャズなど、期間中はあらゆる音楽が高崎に集結し大きな賑わいを見せている。芸術鑑賞の機会を提供することで来訪者の増加に繋げるもの。
事業効果及び進捗状況	幅の広いジャンルの音楽を提供する高崎音楽祭は、群馬音楽センターや高崎シティギャラリーのほか、中心市街地のいたるところでイベントを実施することにより多数の集客効果をもたらしており、年々その数は増加している。

②. 地域交流センター整備事業（高崎文化芸術センター整備事業）（高崎市）

事業完了時期	平成30年度【実施中】
事業概要	群馬県の玄関口である高崎駅の利便性や高速交通網を生かした広域誘客を図るため、芸術文化創造の中心となる施設を整備し、賑わいと情報発信の拠点とする。
事業効果及び	高崎駅を中心とした徒歩圏内に新たに整備される高崎文化芸術センター

進捗状況	は、その規模とともに催しの前後における飲食や買い物等に大きな効果をもたらす。平成 28 年度に着工し平成 30 年度に完成する予定であったが、工期に遅れが生じ、平成 31 年度に完成予定となったため、計画変更を予定している。
------	--

③. 企画文化事業（高崎市）

事業完了時期	平成 26 年度から【実施中】
事業概要	高崎の文化性、ブランド力の中核となる群馬交響楽団の演奏会や国内外のエンターテインメント性の高い芸術鑑賞の機会とともに、市民の文化活動の成果を発表する場を提供することで広域からの集客向上を図る。
事業効果及び進捗状況	群馬交響楽団では年間 9 回の定期演奏会のほか、年間約 30 回の依頼演奏会を実施している。また、中心市街地のカフェで「Café パーティーwith 群響メンバー」を開催するなど、活性化に寄与する事業を展開している。この Café パーティーwith 群響メンバーの平成 29 年度の利用者は 139 人で前年度とほぼ同じ水準だが楽しみにしているファンは多く、着実に事業が定着してきている。

④. まちなか音楽活動助成事業（高崎まちなか音楽活動実行委員会）

事業完了時期	平成 24 年度から【実施中】
事業概要	「音楽のある街・高崎」の実現のため、街かどや商店などにおいて週末を中心に日常的に行われる音楽活動を支援する。
事業効果及び進捗状況	高崎駅西口商業エリアにおいて、地元ミュージシャンが路上ライブを行うための支援や、同エリアで行われる他イベントとのコラボレーション演奏企画を実施するなどにより、同エリアの振興、音楽関係団体やアーティストへの活動の場の提供と育成に寄与した。

⑤. おもてなし事業（高崎市、高崎商工会議所、高崎市中心市街地活性化協議会）

事業完了時期	平成 26 年度から【実施中】
事業概要	民間主体の回遊型音楽イベントとの連携や、既存文化施設でのイベントと中心市街地内で展開するオープンカフェや飲食店と連携した割引サービスの実施など、商店街と関係各所が連携して行う取組みを支援し、中心市街地の回遊性向上と集客力の強化を目指す。
事業効果及び進捗状況	本事業は、「音楽関連イベントと商店街の販売促進連携」、「商店街やまちなかの情報発信による誘引」、「音楽関係団体やアーティストへの活動の場の提供と育成を行う高崎おとまちプロジェクト」、「オープンカフェや飲食イベントなどの連携による誘引」、「ぐるりんと商店街の連携事業」、「大型店と商店街の連携事業」から構成され、駅周辺への来訪者を中心市街地全体へ誘引する効果をもたらしている。

### ●目標達成の見通し及び今後の対策

「文化施設の利用者数の合計値」は、前年に引き続き基準年値を上回る結果となった。これは、既存事業の充実の他、駅周辺の大型集客施設がオープンした影響により、中心市街地の来訪者が増えたことにより、各施設にも波及効果が及んだものと推測される。しかし、評価対象施設の1つである高崎文化芸術センターの完成時期が平成31年度に遅れる見通しとなったため、目標達成については厳しい見通しとなった。今後は、既存事業の拡大やより集客効果の大きな新規事業の追加等の対策の他、広域からの誘客が見込める新体育館や高崎オーパなどで積極的な情報発信を行い、中心市街地の来訪者に対し広く誘引・誘客を図っていく。